



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,271.97	89.44	0.42	0.31	7.64	19,762.60
NASDAQ	6,207.92	-113.85	-1.80	-1.55	15.32	5,383.12
日経225	20,013.26	104.00	0.52	-0.81	4.70	19,114.37
上海総合	3,158.40	8.07	0.26	1.70	1.76	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,576.17	15.19	0.43	2.57	8.04	3,310.08
ハンセン	26,030.29	-32.77	-0.13	0.41	18.32	22,000.56
H株	10,592.17	-57.73	-0.54	-0.70	12.74	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%高と5週続伸、上海総合指数は1.7%高と反発

香港市場ではハンセン指数が週間で0.4%高と5週続伸した。ハンセン指数は一進一退ながらも総じてしっかりの展開。週前半は場中に節目の26000ポイント台に乗せながら終値では節目を維持できない展開が続いたが、中国の強い貿易統計を受けて8日によやく終値で26000ポイント台を回復。週末9日には利益確定売りで反落したものの、節目水準を維持して引けた。本土市場では上海総合指数が週間で1.7%高と反発。週初こそ下げたものの、その後は9日まで4日続伸し、1カ月半ぶり高値をつけた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、週前半は様子見ムード強まる公算

香港市場は上値の重い展開か。ハンセン指数は先週まで5週続伸と堅調な値動きが続いているが、IT・ハイテク銘柄を中心にやや過熱感が強まっており、利益確定売りが上値を抑えそうだ。加えて13-14日の米FOMC、14日の中国の主要経済指標の発表を控え、週前半は慎重姿勢が強まる公算が大きい。中国の経済指標が弱い結果だった場合にはさらに調整圧力が強まる可能性がある。一方、本土市場はしっかりの展開か。MSCI新興国指数へのA株採用期待が相場を支える展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技 (02018)	99.50	20.46
2 吉利汽車 (00175)	15.48	9.17
3 キャセイ・パシフィック (00293)	12.62	8.61
4 新世界発展 (00017)	10.70	7.11
5 銀河娛樂 (00027)	47.10	3.86
6 サズ・チャイ (01928)	36.10	2.85
7 テセント (00700)	277.40	2.74
8 新鴻基地産 (00016)	121.50	2.70
9 中国平安保険 (02318)	52.05	2.66
10 中国中信 (00267)	12.54	2.45

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国工商銀行 (01398)	5.22	-3.33
2 招商局港口 (00144)	21.90	-3.31
3 昆侖能源 (00135)	6.67	-3.19
4 長江インフラ (01038)	66.25	-3.07
5 CNOOC (00883)	8.66	-3.02
6 華潤電力控股 (00836)	15.54	-2.75
7 交通銀行 (03328)	5.87	-2.33
8 中国建設銀行 (00939)	6.46	-2.12
9 中国銀行 (03988)	3.88	-2.02
10 長江和記実業 (00001)	100.00	-1.86

▼今週の主なイベント

- 6月13日(火)
 - 【米国】FOMC(14日まで)
- 6月14日(水)
 - 【中国】小売売上高、鉱工業生産(5月)、固定資産投資(1-5月)

▼今週の期待材料

- ◆中国の5月の貿易統計で輸出・輸入ともに市場予想上回る、景気減速懸念が後退
- ◆MSCIが来週に新興国指数へのA株組み入れの是非を判断、組み入れ期待が本土相場を支える公算
- ◆中国の5月末の外貨準備高が前月比で240億米ドル増加、4カ月連続の増加で資金流出懸念が後退

▼今週の懸念材料

- ◆13-14日に利上げの是非を判断する米FOMC開催、開催を前に慎重姿勢が強まる公算
- ◆英総選挙で与党・保守党が過半数割れ、米国ではロシアゲート疑惑めぐる政権の混乱が長期化の様相
- ◆香港の中古住宅指標が16週連続で過去最高値更新、一段の引き締めに警戒感が強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤置地 (01109) : 5月の不動産販売額は49%増加、販売面積は16%増
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 新疆の高速鉄道PPP事業を共同受注、投資総額は179億元
- ☆ 中国民生銀行 (01988) : Tier2劣後債の発行で当局の認可取得、最大300億元を発行
- ☆ 舜宇光学科技 (02382) : スマホ用レンズの出荷量が拡大、5月は前年同月比87%増
- ☆ 中国建築国際 (03311) : 1-5月の新規受注額が18%増加、通期目標の48%を達成
- ★ ササ・インターナショナル (00178) : 15日に3月本決算を発表、市場予想は1%減益
- ★ 深セン控股 (00604) : 5月の不動産販売額が72%減、販売面積は57%減
- ★ スカイワース (00751) : 13日に3月本決算を発表、市場予想は40%減益
- ★ 華能新能源 (00958) : 5月の発電量は3%減、主力の風力発電が5%減と苦戦
- ★ 中国恒大集団 (03333) : 保有する万科企業株売却で70.7億元の損失計上の見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手した資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。